

伊都収第 154 号

平成20年10月22日

国土交通省道路局長 殿

伊勢崎市長 矢内 一雄
(都市計画部都市計画課)



今後の道路行政についての意見・提案について（提出）

平成20年9月19日付け国道企第37号で提出依頼のあったことについては、別紙のとおりです。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

群馬県伊勢崎市

○道路整備補助率の拡充 → 60%補助

○地方道路整備臨時交付金制度の存続

○地方道路整備臨時交付金事業の拡充 → ポイント的な渋滞緩和のための交差点改良事業

→ 地域に密着した生活道路の拡幅、改良事業

○橋梁の点検、補強への補助制度の拡充

○生活の利便性の向上と災害時の被害軽減のため、生活道路の整備への補助制度の創設

○ドライバーが短時間で安全に目的地まで到着できる道路を目指し、歩行者と自転車と安心して通行できる交通社会の実現のため、効率的な道路行政を一体的にコントロールしていただきたい。

今後の道路行政についての意見・提案

②-1 地域の現状と抱える課題

現状	課題
①波志江PASスマートICの本格運用 北関東自動車道波志江PAにおいて、平成20年3月29日よりスマートICの社会実験を行っております。 社会実験当初は、一日あたり約1,000台の利用台数が9月末には約1,300台と順調に伸びている。 現在は、本格運用への移行に向けて、社会実験協議会において協議を進めている。 また、併せてスマートICへのアクセス道路の整備も行っている。	スマートICの整備効果の更なる向上を図るため、早期本格運用への移行が必要となる。
②一般国道17号上武道路の4車線化 一般国道17号上武道路は、近年、経済性と利便性から交通量が増加しており、北関東自動車道伊勢崎インターチェンジを中心に4車線化されているが、接続する暫定2車線区間でボトルネックとなり、慢性的な渋滞を引き起こしている。	地域経済の活性化や安全で快適な道路環境を確保するため、全線の早期4車線化が重要となっている。
③一般国道50号前橋笠懸道路の整備推進 一般国道50号のうち、前橋市二ノ宮町～伊勢崎市西久保町一丁目～みどり市笠懸町では、県内唯一の2車線区間であり、交通量も多く慢性的な渋滞が発生し、地域の交通機能の低下の原因となっている。	今後、交通需要の増大が見込まれる未整備区間の4車線化およびバイパスの整備は、地域活性化を促進し、歩行空間を確保し、ゆとりある生活を支えるためにも緊急課題として整備が期待されている。

◇将来都市像

**20万市民が健康で安心して暮らせる
県央都市 いせさき**

◇基本的な考え方

『都市の成熟化と持続的発展の調和』

◇基本目標

暮らしやすい
成熟したまち

自然、歴史・文化
を活かしたまち

安心・安全なまち

持続的に発展する
魅力ある20万都市

伊勢崎市の都市づくり

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

様式 ④

群馬県伊勢崎市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他